



まんだらげ

vol. 12
2010.3

患者さまの権利

1 個人として尊重され、質の高い医療を受ける権利

個人の人格が尊重され、年齢、性別、信条、障害の有無などにかかわらず、必要かつ十分な医療を平等に受ける権利があります。

2 医療について十分な説明を受ける権利

ご自身が受ける処置・手術や検査等について、十分な説明を受ける権利があります。また、他の医療機関の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求める権利があります

3 自分が受ける医療を自ら決定する権利

納得できるまで説明を受けたのち、ご自身が受ける医療について意見を表明し、自らの意思に基づいて決定する権利があります。

4 医療について情報提供を受ける権利

自分の病気や受けている医療について知ることができるとともに、カルテ等の開示を求める権利があります。

5 個人情報やプライバシーが守られる権利

医療に関する個人情報やプライバシーは厳正に保護される権利があります

養翠園(和歌山市)

CONTENTS

- スペシャリスト紹介
- 病棟たより/10階東病棟
- クローズアップ/げんき開発研究所利用案内
- お役立ちメモ/限度額摘要認定証
- 栄養ワンポイントアドバイス/菜の花とアンチョビの豚肉巻
- お薬の話/薬の有効期限

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

- 1 患者さまとの信頼関係を大切にし、安全で心のこもった医療を行います。
- 2 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。
- 3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。
- 4 地域の中核病院として、和歌山の保健医療を推進します。

基本方針

理念
私達は患者さま本位で、質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。



【看護部門】

和歌山県立医科大学附属病院看護部は、看護要員670名を擁する大所帯です。質の高い看護を提供するために24時間を通して活動を行っています。今回はその中から、専門的な教育研修を受け、リソースナースとして活動を行っている専門看護師・認定看護師の一部をご紹介します。



ストレスの多い社会になり、心理的に不安定な思春期・青年期の患者さんをはじめ、その患者さんを日常支えられている家族の方のサポートをおこないます。家族の方とともに患者さんの治療と一緒に支援いたします。お気軽にご相談ください。

思春期・青年期精神科認定看護師 西山 涼子



痛みがあるとがん治療もがんばれません。また痛みは生活の質も著しく低下させます。痛みは我慢せず医療者に伝えることがとても大切です。「痛みで困っている」「鎮痛薬の副作用で困っている」「鎮痛薬の使い方が難しい」など痛みで困ったらまずはお気軽にご相談ください。

がん性疼痛看護認定看護師 石徹白 しのぶ



乳がん認定看護師 田中 敦子

乳がん治療や看護を必要とする患者さんが、安心して治療を受けていただけるようサポートをしています。内容は、手術・化学療法などにおける治療方法選択時のアドバイス、また治療に伴う副作用、補整下着に関することやリンパ浮腫の相談などをおこなっています。そのような不安や悩みに対し、看護相談（乳腺外科外来で予約制）をおこなっておりますので、お気軽にご相談ください。



緩和ケアチームの専従看護師として、一般病棟に入院しているがん患者さんやご家族の方の身体や心のケアを病棟の看護師と共にしています。また、週に2回は、がん療法の看護相談を行っていますので、お気軽にご相談ください。

がん専門看護師 温井 由美



はじめまして。主に、がん患者さんの症状緩和や患者さん・ご家族の精神的サポート、今後生活をしていくにあたっての支援などを行っております。がんのことや生活のことで不安があれば、いつでも声をかけください。

緩和ケア認定看護師 榎山 美佳

病棟だより

明るく元気な看護スタッフは患者さんの笑顔が励みです

10階東病棟は、心臓血管外科、乳腺外科、呼吸器外科、消化器外科、麻酔科、共通床含め全50床。毎日が手術日なので重篤な患者さんも多く、看護師には観察力や洞察力、対応力、集中力などが求められます。「患者さんが回復されて元気になっていくのが仕事のやりがいです」と話す岡本病棟師長。

1日も早く自宅に帰って普段の生活が送れるよう看護スタッフ全員総力をあげてサポートしています。



【病院ボランティア募集のお知らせ】

和歌山県立医科大学附属病院では、外来患者さまがスムーズに受診できるようお手伝いをしてくださるボランティアの方を募集しています。

◎活動内容

新規患者さまの受付案内、病院内の施設案内、車いす介助、視覚障害者の誘導など

◎活動時間

月曜日から金曜日の午前8時50分～11時50分を中心に3時頃まで

◎募集期間

平成22年5月31日(月)まで

◎問い合わせ先

和歌山県立医科大学附属病院

病院課 ボランティア担当 TEL 073-441-0807

ぐるーずあっぱ

げんき開発研究所 - 会員募集中 -

「出来ることから、やりたい事へ。おもいっきり汗をかきましょう」

本学みらい医療推進講座では、県民の皆様の健康促進を願って、研究所内測定機器及びフィットネス機器をご利用いただけるスポーツ健康講座を開設いたしました。①運動不足解消②ダイエット③スポーツ選手の競技力向上等、専門のスタッフが皆様をサポートしています。どのように身体を動かせばよいか、分からない方、効果的なトレーニングを希望される方などには、トレーニングメニューの作成もアドバイスさせていただきます。

障がいをお持ちの方、お年寄り、成長期のお子様でも発達に適した身体作りを指導いたします。是非、皆さんで遊びに来てください。

- ・げんき会員 8000/月
- ・アスリート会員 4000/月

【開所時間】
平日-10:00~21:00
土日-10:00~17:00



4月から
各種講座を
開設予定!

土・日オープン!
(10:00~17:00)

お役立ちメモ

限度額適用認定証

～入院の医療費が高額になったとき～

健康保険を使って診療を受ける場合、同じ月内の自己負担限度額が世帯の収入に応じて設けられています。

入院時に「限度額適用認定証」を提示すれば、窓口での支払金額が自己負担の限度額までとなります。

- ※保険料の滞納のある方は原則、交付されません。
- ※保険適用外の差額ベッド代や食事の一部負担金などは対象になりません。

【70歳未満の方】
「限度額適用認定証」の申請をしましょう

【70歳以上の課税世帯の方】
手続きが不要です。自動的に窓口での支払いが限度額までになります。

【70歳以上で非課税世帯の方】
手続きをすれば、課税世帯よりも限度額が低くなり、食事療養費も減額されます。

●限度額適用認定証の手続き

申請窓口は、加入中の各保険者です。
健康保険証に保険者の記載があります。

- ・国民健康保険・・・各市町村役場の国民健康保険課
- ・社会保険・・・全国健康保険協会(協会けんぽ)各都道府県支部
- ・共済・組合・・・各共済組合・健康保険組合

●入院の場合の自己負担限度額

(保険適用外の差額ベッド代や食費等は含みません。外来の場合は限度額が異なります。)

所得区分		70歳未満の方	70歳以上の方
一定以上所得者	1～3回	150,000円 +(医療費-500,000円) ×1%	80,100円 +(医療費-267,000円) ×1%
	4回目以降	83,400円	44,400円
一般	1～3回	80,100円 +(医療費-267,000円) ×1%	44,400円
	4回目以降	44,000円	
住民税非課税世帯	1～3回	35,400円	所得Ⅱ 24,600円
	4回目以降	24,600円	所得Ⅰ 15,000円

★限度額適用認定証を病院に提示していただかなかった場合や、同一世帯・同一保険加入者で外来診療や複数の医療機関を受診した場合は、医療費の支払い合算が自己負担限度額を超える分について、下記の表の高額療養費の支給を受けることができます。

世帯種類	世帯合算して高額療養費の支給が受けられるもの
70歳未満の方のみの世帯	同一月内に21,000円以上の自己負担額が2件以上ある場合、それらを合算して、自己負担限度額を超えたのもの
70歳以上の方のみの世帯	同一月内の全ての自己負担額を合算して、自己負担限度額を超えたもの
70歳未満の方と70歳以上の方の世帯	70歳未満の方は同一月内の21,000円以上の自己負担額のみ、70歳以上の方は同一月内の全ての自己負担額を合算して、自己負担限度額を超えたのもの

詳しくは、地域連携室もしくは申請窓口にお問い合わせください



栄養ワンポイントアドバイス【病態栄養治療部】

春に出回る野菜に菜の花があります。

菜の花はアブラナ科の緑黄色野菜で花や茎、葉を食し、このほろ苦い独特の風味は、春の訪れを感じさせてくれます。栄養価も高く、カロテンやビタミンC、カルシウム、鉄分、カリウムなどを豊富に含みます。今回は、菜の花とアンチョビ(鰯の塩漬け)を使った簡単でちょっとお洒落な料理を紹介します。この季節ならではの春の恵みを楽しんで下さい。



注)・花が咲いているものは、鮮度・栄養価が落ちますのでつぼみが開いていないものを選びましょう。

・アンチョビは缶詰や瓶詰などがあり最近ではスーパーなどで簡単に購入できます。

【菜の花とアンチョビの豚肉巻】

○**栄養価** エネルギー230kcal、蛋白質19.0g、脂質11.0g、炭水化物12.0g、塩分2.0g

○**材料** (一人前) 豚もも薄切り肉 60g、菜の花 60g、スライスチーズ 10g(1枚)、アンチョビフィレ 10g(2~3枚)、こしょう 少々、片栗粉 10g(大さじ1)、サラダ油 5g(小さじ1)

○作り方

①菜の花は茹でて絞り、豚肉の横幅と同じ長さ切る。チーズは細切りにする。

②豚肉に軽くこしょうをして、チーズ、菜の花、アンチョビを並べて巻き、片栗粉を全体に薄くまぶす。

③フライパンに油を熱し、巻き終わりを下にして入れ、豚肉に火が通るまで転がしながら焼く。

お薬の豆知識



シリーズ⑫

「薬の有効期限」

～薬剤部から～

お薬には有効期限があります。病院で処方される薬は、医師によって指定された期間で飲み(使用)終えるものです。残っている薬があっても次に同じような症状が出たときに飲んだり、使ったり、人にあげたりせず、医師の診察を受けた方がよいでしょう。保存する場合は、湿気や直射日光を避けて涼しいところに保管してください。水薬や溶かしてから使用する点眼薬のなかには、期限が1週間と短いものもあるので注意が必要です。詳しくは、薬剤師にご相談ください。

◎花や花瓶の水は、感染やアレルギーの原因となります

そこで今年4月1日からお見舞いの花(生花、鉢植え、ドライフラワー)の病室への持ち込みをご遠慮いただくこととなります。



お花や花瓶の水は、感染やアレルギーの原因となりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「最新の医療カンファランス」

場所：和歌山県立医科大学 図書館棟3階
(生涯研修・地域医療支援センター研修室)

定員：100人 参加無料

■5月13日(木)15:00~17:00

「認知症の診断・認知・認知症の予防・治療」

講師：医大・神経内科 三輪 英人(あわひでと)

講師：医大・神経内科 檜皮谷 泰寛(ひわだに やすひろ)

■6月10日(木)14:00~16:00

ロコモティブシンドローム(運動器症候群)について

運動器不安定症を来す各種脊椎疾患について
～骨粗鬆症を中心に～

講師：医大・整形外科学教室 山田 宏(やまだ ひろし)

講師：医大・整形外科学教室 筒井 俊二(つつい しゅんじ)

問：TEL 073-441-0789 和歌山県立医科大学生涯研修地域医療支援センター

和歌山県立医科大学附属病院広報誌 まんだらげ〈vol.12〉

2010年3月発行

発行／和歌山県立医科大学附属病院

〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1

TEL 073-447-2300

【ホームページアドレス】

<http://www.wakayama-med.ac.jp/hospital>

※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。

外来受付時間

・受付時間 午前8時50分～午前11時30分

・再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)

・休診日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

電話予約センター

月～金 午前8:30～午後4:00

【祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く】

TEL 073-441-0489

電話をしていただく時間帯により、回線が大変ご迷惑な場合がございます。ご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご了承ください。

次号発行は
6月です。